

誓いの言葉

桜が咲き誇りうらかな日差しがまぶしい今日の佳き日、私達は期待を胸に、新潟食料農業大学に入学しました。新型コロナウイルス感染症予防対策の為、私たち新生と先生方のみ参加となりましたが、本日は私たちのために、このような盛大な式を挙行していただき誠にありがとうございます。新生を代表して御礼申し上げます。

私が食料産業に興味を持ったきっかけは、高校で食品について学び、食品開発に興味を持ったことです。小学生の頃から食べることや作ることが好きだったので、食品について学べる高校に進学し、食品製造や食品化学を専攻しました。

私はこれらを学ぶ中で、私たちが普段食べている食品は何故加熱や冷凍によって食感や風味が変わるのかを化学的根拠を元に知ることができ、今まで以上に食に興味を持ちました。

そしてもっと食について学びたいと考えていた時、食について総合的に学べる大学があると高校の先生から教えていただいたことが本校を目指すきっかけでした。

本校は卒業生が居らず、歴史が浅く不安がありました。しかし大学見学に伺った際に高い専門知識を持つ先生方の説明を聞き、食や農業に対する熱意が伝わってきました。ここで学ぶことによって、今日本の食を支えるためのフードチェーン全体を担う人材になれるのではないかと思いました。さらに、充実した設備で実習実験が可能と言うことで、食品加工や食品化学の基礎基本をしっかりと身につけられる点から本学では自分がやりたい事が実現出来ると思いました。

新潟県は海と山に囲まれた、大変風土に恵まれた県です。「お米県」と言われるほどお米が有名ですが、新潟県には土地に恵まれた新潟でしか採れないような美味しい野菜や魚がたくさんあるにも関わらずあまり知られていないように思えます。もっと良いところを伝えられたら、新潟の食料産業が盛り上がるのではないかと考えます。

私は本校で四年間を通して、フードチェーン全体の知識や技術、フードコースで食品科学領域と食品プロセス学領域を学び、食品産業で必要とされる知識・技術を身につけたいと思います。そして卒業後は、本校で学んだ知識と技術をいかして新潟県の食材を使用した加工食品を開発し、新潟の美味しい食べ物を全国に広めて新潟の産業を盛り上げたいと思っています。

私たち新入生一同は、本日より新潟食料農業大学の学生として誇りを持ち、充実した学生生活を送りたいと思います。大学で多くの知識と技術を身につけ、高度な専門性を持ったジェネラリストとして日本のフードチェーンを支えていく人材となれるよう日々精進してまいります。

本校に入学するにあたり、これまでお世話になった家族や友人、先生方への感謝を忘れず、これからは学長先生をはじめ、教職員の皆様のご指導の元、それぞれの目標に向かい日々努力すると共に、様々な活動に積極的に取り組むことを誓い、入学の言葉と致します

二〇二一年四月十日

食料産業学部 食料産業学科

新入生代表 佐藤奈生